

豊寿園

FRUITFUL TREE

豊かな樹

Spring 2018

Vol. 38

JAPANESE RED CROSS
SOCIETY FUKUOKA
PREFECTURAL CHAPTER
THE SPECIAL NURSING HOME
HOJYUEN

TOPICS

MORE CROSS

HOJYUEN×FAMILY

AREA INFORMATION

CARE MEMO

HOJYUEN'S ALBUM

SPECIAL SECTION



トピックス
T O P I C S

地震を想定した防災訓練を行いました！

3月5日に、門司消防署立会いの下、地震による火災発生を想定した防災訓練を行いました。地震発生時の対応方法や、火災発生時の避難誘導などの手順を確認しました。



自己評価報告会を開催しました！

2月27日に、外部の第三者委員を交え自己評価報告会を開催しました。各サービスの自己点検と昨年度中にいただいた苦情内容や、利用者様を対象に実施した満足度アンケートの結果を総括しました。



職員研究発表会を開催しました！

3月20日に、豊寿園の職員が一年間研究した成果の発表会を行いました。介護職員、生活相談員、歯科衛生士等9組の発表の中から、2階特養棟介護職員福本さんが発表した「夜間の利用者様の見守り方法」という作品が最優秀賞を受賞しました。



全体研修で褥瘡について学びました！

2月21日に、協力医療機関として日頃から連携をとらせていただいています、門司区にある社会医療法人財団 池友会 新小文字病院から、皮膚排泄ケア認定看護師の大谷先生をお招きし、褥瘡・スキンケアに関する職員研修会を開催しました。





3月17日
校区の行方不明者捜索模擬訓練に参加
全体で約130名が参加！

門司区松ヶ江北校区で行われた、地域で認知症等が原因で行方不明になった方を捜索する訓練に豊寿園も参加しました。3回目となる今回の訓練には、地域の皆さんだけではなく、校区内にある障害、児童養護、高齢者施設や医療機関の方々も参加されました。



2月16日
市民センターで救急法の講習会

松ヶ江北市民センターで開催されたふくしの町づくり講習会で、豊寿園職員による救急法講習を行いました。約30名の方が参加され、熱心にAEDの取り扱い方等を学んでいただきました。



3月20日
赤十字ボランティアオリエンテーションを
小倉北区で開催

平成29年度第2回目の赤十字ボランティアオリエンテーションを開催しました。今回は豊寿園のある門司区ではなく、小倉北区の小倉商工会館を会場に開催、多数の方にご参加いただきました。



3月23日
地域・近隣施設による合同消防訓練に参加

豊寿園のある、松ヶ江北校区では、近隣の施設と災害時などの連携協定を締結しています。今回、その協定加盟施設や地域の皆様による合同の消防訓練が開催され、豊寿園職員も参加しました。

あなたと向き合った日々

HOUJYUEN × Family

今回、奥水介護課長のインタビューを受けてくださったのは、入江様のご家族です。お姉様お二人の介護を経て、現在はお二人ともが豊寿園にご入所されています。弟様ご夫妻から在宅介護の体験談をお聞きしました。

「話をしている時に「なんとなくおかしい。。。」と感じていました。」



今回インタビューに応じてくださった
入江様ご夫妻
(写真左から入江様、入江様の奥様)

私達の兄弟は、恒見で漁業を営む両親のもとに生まれました。長姉は女学校を卒業後に23歳で結婚し、夫と共に酒屋を営んでいました。

次姉は女学校を卒業した頃に、母親が体調を崩したため、結婚せずに実家で家事一切をしていました。

長姉は、平成13年頃から、話をしている時に「なんとなくおかしい。。。」と感じていました。その後だんだんと、認知症の症状が出てきて、料理や買い物が出来なくなっていくきました。義兄が代わりに料理するなどして支えてくれていました。

次姉は、体の弱かった母親の代わりに

家事を担って、父親が亡くなってからは、実家で一人暮らしをしていました。平成17年頃に、小倉へ一緒に買い物に行った時のことです。振り向くと何も言わずにいなくなっていたことがありました。デパートで「ここに居るから買い物に行つておいで」と言ったのに、戻ると居ないんです。一人でバスに乗って家に帰っていました。私たちと一緒にいることや、約束したことを忘れるんでしょうね。デパートの中で私呼び出されることもありました。財布を置き忘れたり、上着やショールなどなくすことは頻回にありました。病院にも行つたのですが、薬は全く何とかな生活を送っていました。

「それまで自分が家事を担っていたというプライドを傷つけたのかもしれない。」

平成19年に、長姉の夫が亡くなりました。認知症の進んだ長姉の面倒を見る人がいなくなつたので、それを機に、実家に戻すことになり、次姉と姉妹二人での生活が始まりました。二人とも料理などの家事が難しくなっていたので、宅配の弁当を頼んでいました。長姉はよく食べてくれたのですが、次姉は「こんなもん食べれん！」と言い張り食べてくれませんでした。それまで実家で自分が家事を担っていたというプライドを傷つけたのかもしれない。

それで、二人とも介護保険を利用するようになり、ヘルパーさんに食事を作ってもらうようにしたり、私たちも近くに住んでいたので料理を持つて行ったりしていました。また、東京に住んでいた三姉も定期的に1ヶ月程実家に泊まるようにしてくれていました。姉妹での生活でしたが、よく二人でケンカをしていました。そうなるかと次姉が長姉に「でていけ！」と言うんです。長姉は近くに住む私たちの家に「泊めてくれ。」と来ていました。でも、しばらくすると、そわそわはじめて、「帰る。」と言って実家に帰っていく、ということを繰り返していました。私が、2人の間に入って仲裁しても、2人ともがケンカしたことを忘れていたのでどうしようもありませんでした(笑)。



HOUJYUEN × Family



次姉にとつては、長姉を自分が面倒を見ていると言う思いがあるんでしょう。本当によくケンカをしていました。

―説明をしていますが、喧嘩をしていても、長姉がいけないことで不安になるんでしょうね。―

実家での二人暮らしでは、いよいよ生活が難しくなってきたので、長姉にデイサービスやショートステイを利用してもらおうようにしました。

長姉はデイサービスに行くのをとても楽しみにしていました。前の日には、「どの服を着ようか。」と準備をするんです。「これでいいかしら。」と嬉しそう

でした。

でも、次姉は長姉がいけないことが理解できないのか、「姉さんがいない!」と何度も私の家に聞きに来ました。説明をしていても、喧嘩をしていても、長姉がいけないことで不安になるんでしょうね。長姉がショートステイに行っている時や、入院した時などは、4、5分おきに何度も、私の家に尋ねに来ました。夜中に来ることもありましたが、近所に住んでいる次姉の友人の家にも尋ねに行っていたようです。近所の人たちの理解があつて助かりました。次姉は、よく近所のお店に買い物に行つたのですが、お金を払ったかどうか忘れるので何度もお店に戻つていたようです。お金を持たずに買い物をしていたこともありました。お店の人は、昔から知っているもので、私にお金を何度も払いに来ることを教えてくれました。

ケアマネさんからは、自由に歩き回る次姉を心配されて、「服などに名前を大きく書いて張つた方がいい。」と助言されたこともありましたが、自宅近くの生活圏内で行動してくれていたのが、幸い、行方不明になることはなく済みました。平成21年頃から、長姉が豊寿園のショートステイを連続利用するようになり、次姉は一人暮らしになりました。私達やケアマネさんから、次姉にもデイサービスなどの利用を何度も勧めましたが頑として応じませんでした。それから半年ほどすると、次姉は次第に自宅で寝てばかりの生活になり、精神科の病院へ入院することになりました。その後、次姉が先に豊寿



園の順番が回つてきて入所となり、それからしばらくして長姉も入所になったので、姉妹でまた一緒に生活に戻りました。

―近所の人たちにも協力していただけたことも助かりました。―

実家で二人が生活している頃は、私たち夫婦の言うことはなかなか聞いてくれなくて、強い口調で返ってくることもありましたが、それが今では、「そうやね」と聞いてくれるようになりましたね。一人だとしても無理だつたと思います。それに昔から同じ場所で住んでいたことで、近所の人たちにも協力していただけたことも助かりました。でも一番困つたのは、パツといなくなることでしたね。協調性がない人なんだと最初は思つてましたよ(笑)。

入江様の長姉様(写真右)と次姉様(写真左)豊寿園入所後のお二人。ときにケンカをしながらも、姉妹で一緒にいる生活で安心感を持たれていたのではないのでしょうか。

地域ぶらり情報



肉たっぷりのうどん

豊寿園より車で3分、県道25号線沿い（旧道）に母娘で営んでいるうどん屋があります。会社勤めのご主人が「うどん屋を開きたい！」と言われ、昭和52年10月に夫婦で開業し41年になりました。趣のある店構えは映画の撮影にも何度か使われたことがあるそうです。奥さんは、初め開店に大反対していたそうですが、開店当時に親と来ていた赤ちゃんが、大きくなり子供を連れてくる、3世代で長く愛されているお店になり、そんなお客様の成長が見れて、今では店を開いてよかったと思っているそうです。お店で一番の人気は『肉うどん』。ご主人が「麺が見えないくらいの肉うどんを食べたい！自分が作って皆に食べさせたい！」という思いから、源平うどんの『肉うどん』が出来たそうです。甘辛く煮た肉だけでも美味しいのですが、玉子をトッピングすればすき焼き風のうどんになります。またごぼう天をトッピングするお客様も多いそうです。「夫は亡くなりましたが、今は娘、そして良い仲間にも恵まれて店を続けています。これからも皆さんの美味しい！という時の笑顔が見たいので、頑張っていきます。」と奥さんは話されます。『源平うどん』の肉うどんをぜひ食べてみてください。

源平うどん

北九州市門司区大字畑1271-1

TEL 090-481-3810

定休日 水・木曜

OPEN 10:00~15:00



あとがき

豊寿園の桜が満開となり、出会いと別れの春がやってきました。3月で5年間勤務された長田事務課長が定年退職され、4月から新たに松隈事務課長を迎えました。新しい体制となって迎えた新年度。早速、介護保険の改定もあり、慌ただしいスタートとなりました。

昨年度は、開園から長く豊寿園の運営を陰ながら支えて頂いてきた家族会が年度末で廃止となり、今年度からは豊寿園の主催で、ご家族との意見交換会を7月頃に開催する予定にしています。家族会がこれまで築いてきていただいた架け橋はそのままに、新たな形でご家族と豊寿園とのコミュニケーションを深めていければ幸いです。

豊寿園は、今年度も様々な取り組みや、園内外での活動を展開していく予定にしています。それらはすべてホームページや、この豊かな樹でご紹介していきます。今年度も豊寿園の活動にご期待ください。

平成30年度広報担当 森 英樹



今回表紙を飾ってくれたのは、豊寿園の特養棟1、2階で介護職員としてそれぞれ勤務している上田健太さん、沙耶香さんと、そして、お二人の愛娘 滯奈（みおな）ちゃんです。親子3人で、仲睦まじい様子を撮影させてくれました。

介護一口メモ

今回のテーマは「介護保険」についてです。平成29、30年度と介護保険サービスの利用料に関する改正がありましたので、ご紹介します。

1. 高額介護(予防)サービス費の上限の一部見直し(平成29年8月～)

介護保険サービスを利用し、1カ月の利用者負担額〔①福祉用具購入費及び住宅改修費の定率負担、②区分支給限度額を超えて利用した分、③食費・居住費(滞在費)、日常生活費は除く〕が、下記に示す上限額を超えるときに、申請により超えた額を「高額介護サービス費」として払い戻す制度です。なお、世帯で複数のサービス利用者がある場合は、上限額の適用が異なります。

対象者		利用者負担の上限
・生活保護受給者 ・市民税世帯非課税で老齢福祉年金受給者 ・市民税世帯非課税で課税年金収入額と合計所得金額が年80万円以下の人 ・市民税世帯非課税で上記以外の人		15,000円
平成29年8月～	市民税世帯課税の人(一般)※1	24,600円
	・市民税世帯課税の人(現役並み所得相当※2)	44,000円

※1:市民税世帯課税の人(一般)の上限額が37,200円から44,400円へ変更となりましたが、同じ世帯の全ての65歳以上の人(サービスを利用していない人を含む。)の利用者負担割合が1割の世帯については、新たに、自己負担額の年間(前年の8月1日から7月31日までの間)の合計額に対して、446,400円(37,200円×12月)が負担上限額となります(3年間の時限措置)。

2:現役並み所得相当・・・同一世帯に課税所得145万円以上の第1号被保険者(65歳以上の人)がいる場合で、世帯内の第1号被保険者の収入が単身で383万円以上(2人以上の場合は520万円以上)のこと。

2. 現役並みの所得がある方は利用者負担が3割負担に(平成30年8月～)

第1号被保険者(65歳以上)以上の利用者負担について、2割負担者のうち、特に所得の高い層の負担割合は平成30年8月から**3割**となります。

対象者		利用者負担割合	
本人の合計所得金額が220万円以上かつ、同一世帯内の第1号被保険者に係る公的年金収入とその他の合計所得金額の合計額が340万円以上(世帯に第1号被保険者が複数いる場合は463万円以上)		3割	
本人の合計所得金額が160万円以上の人	上記・下記以外の人	2割	
	本人も含め同一世帯の第1号被保険者の「年金+その他の合計所得金額」が右記の額	単身は 280万円未満	1割
		2人以上は 346万円以上	
本人の合計所得金額が160万円未満の人			

※資料引用:北九州市ホームページより

内容について、ご不明な点は各区役所介護保険担当窓口までお問い合わせ下さい。



1月 年賀式で利用者の皆さんへお屠蘇を振る舞いました。



1月 新年祈願として、門司区にある和布川神社の方に出張していただきました。



2月 毎年恒例の一流祝金獅子會のお二人による獅子舞を鑑賞しました。



2月 園内での買い物をお楽しみいただきました。



3月 ひな祭りの行事として、ひな飾りを眺めながら喫茶をお楽しみいただきました。



4月 園内に咲き誇った桜のお花見会を行いました。

デイサービス



1月 書初めで今年の干支を上手に書かれました。



2月 皆で雑壇の飾り付けを行いました。



2月 厨房のイベントで、目の前で寿司を握ってもらいました。



3月 マシュマロと餡子を使ってお雑様のおやつを作りました。食べるのがもったいないくらいのおやつができました。



3月 新門司保育所に卒園のお祝いに行きました。子供たちの可愛い笑顔を見て一緒に笑顔になりました。



ミニ菜園で野菜作り



GO



送迎



厨房
イベント食

9:45

到着・健康チェック

個別活動



10:00

入浴



食事



楽しい昼食

12:00

レクリエーション



14:00

15:00

おやつ



15:50

送迎



天気の良い日は屋外で

お弁当を持って
バスハイク



ドライブ



タオル体操

書道



おやつ作り

デイサービスの
一日の流れ

Day service

おひとりおひとりと向き合う ゆとりある時間が過ごせます

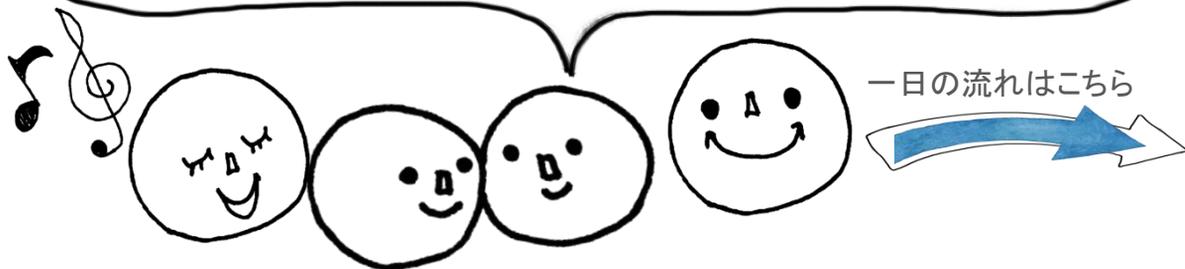
豊寿園では、認知症対応型デイサービス(通所介護)を行っています。
認知症対応型デイサービスは、

- ・認知症の診断を受けている方が対象のデイサービスです。
- ・定員12名と少人数ため、利用者様お一人おひとりに寄り添ったケアを行います。
- ・認知症の専門知識を持った職員が対応いたします。
- ・浴槽は家庭用の個浴ですので、お一人ずつゆとりと入浴をお楽しみいただけます。

日々の生活の中で出来ることを続けてもらうことや、レクリエーションに参加して身体を動かすことで機能の維持を図っています。

また、季節によって様々な行事を行い、四季をお楽しみいただけます。

豊寿園のデイサービスは「私らしく」を基本理念に、利用者様のその瞬間大切に毎日をお過ごしいただけます。



新任 事務課長ご挨拶



このたび、日本赤十字九州国際看護大学から豊寿園の事務課へ4年ぶりに戻ってまいりました。

懐かしい面々に再開することが出来てホッとしています。現在は4年間のブランクを埋めるため努力する毎日です。

福祉施設を取り巻く状況は、依然、厳しいですが、利用者様やご家族の皆様が安心して当園のサービスを受けていただけるよう、頑張りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

事務課長 松隈 諭至

Spring 2018

Vol.38

TOPICS

MORE CROSS

HOUJYUEN* FAMILY

AREA INFORMATION

CARE MEMO

HOUJYUEN* S ALBUM

SPECIAL SECTION



FRUITFUL TREE

JAPANESE RED CROSS SOCIETY FUKUOKA PREFECTURAL CHAPTER THE SPECIAL NURSING HOME HOUJYUEN